

歴史学習におけるインターネット利用の現状と課題

—愛知県内の公立博物館・資料館のホームページの現状—

神田 竜也 (安城市史調査協力員)
土屋 武志 (史学教室)

The study about the present situation and the problem of the Internet use in case of History learning

—The present situation of the home page at public museums in the Aichi prefecture—

Tatsuya KANDA (The investigation cooperation member of the Anjo History)
Takeshi TSUCHIYA (Department of History)

【要約】 本稿では、歴史学習におけるホームページ利用を考えていくための基礎作業として、愛知県内における公立の歴史系博物館・資料館のホームページについて、子どもの調べ学習に対応できるかどうかという視点から検討をおこなった。その結果、現状では愛知県清洲町貝殻山貝塚資料館以外には子どもの調べ学習に対応したホームページは開設されていないこと、またそれ以前の問題として博物館・資料館独自のホームページがほとんど開設されていないことが明らかとなり、今後学校教育との一層の関連を図った充実が必要と考えられる。

キーワード：歴史学習、調べ学習、ホームページ、博物館・資料館

1. はじめに

新学習指導要領により、各教科におけるコンピュータ・情報通信ネットワークなどの情報手段の積極的活用が求められることになった。社会科歴史学習においては、子どもの調べ学習の道具として（そして教師の教材収集の道具としても）インターネット上のホームページ（以下HP）を用いることが想定できる。だが、具体的には子どもの調べ学習に役立つHPはなかなか思いあたらないのではないだろうか。学校現場におけるコンピュータ環境は急速に整備されつつあるが、ハード面が先行し、HPの充実といったようなソフト面の整備についてはやや立ち遅れているように思われる。

ソフト面の充実に関する方向性については、バーチャル・エージェンシー「教育の情報化プロジェクト」報告が非常に示唆的である⁽¹⁾。この報告では、ソフト面の取り組みの一つとして「関係省庁・民間が連携して、質の高い教育用コンテンツの開発やそれらの提供を推進する事業を実施する」ことを掲げており、具体的には次のように述べられている。

教育用コンテンツ・HPの開発等に当たっては、新学習指導要領に対応して教科・科目・単元ごとに区分を設ける工夫などをする必要がある。

特に当面は、例えば、理科・社会などの教科や新設される「総合的な学習の時間」の中で取り上げられる環境やボランティア活動など、学校現場のニーズが大きいと考えられるテーマを中心に充実させることが考えられる。

(1) 各種の教育用コンテンツ等に関する情報提供を行う総合的サイトの開設

公的機関・民間企業・団体などが開設している各種の教育用コンテンツ・HP等の情報を収集・管理・提供するとともに、有益なHP等にリンクできる総合的な教育用サイトを開設する。このサイトからリンクできるHP等は、産・官・学が連携して作成または選択する。

(2) 博物館・美術館・大学・研究機関等におけるデジタル・アーカイブ化の推進、子ども向けコンテンツ・HP等の作成・開設

全国の公的機関が有する資料等を教育用コンテンツとして活用するため、国公立の博物館・美術館・大学・研究機関等における資料のデジタル・アーカイブ化や子ども向けの解説の設定などを推進する。また、公的機関や私立の教育機関・民間企業・団体等において子ども向けHPを開設してもらおう広く呼びかける。その際、HP開設などについて必要な情報を提供する等の支援を行う。

また、そのためには、まず各省庁や都道府県などが率先して、子ども向けHPの開設を進める必要がある。

なお、これらの取り組みに当たっては、単に使用漢字をひらがなに書き直したりするだけでなく、内容的にも子どもたちが理解しやすいように抜本的に工夫する必要

がある。

(3) 民間企業・団体等による教育用コンテンツ等の開発支援

民間企業・団体等による教育用コンテンツ等の開発を促進するため、以下の事業を実施する。

(①～③省略)

(4) 各種の研究開発事業の成果の活用

「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」をはじめ各種の研究開発事業の成果をデータベース化するなど、情報を共有化して活用する。

これらの中でも特に(2)に注目したい。歴史学習で利用する情報は、一定程度学問的成果に基づいた信頼性のあるものでなければならない。となれば、学芸員や専門家によって一定水準の専門性を保証されている博物館・資料館から発信されるHPの情報は、学習活動において非常に利用価値が高いと考えられる。

また双方向性を持ち、物理的距離が障害にならないインターネットは、今後、地域の博物館・資料館と学校教育、いかに言えば専門家(学芸員)と子どもたちとの連携の新しい手段となりえるものであり、HPはその窓口として有効な役割を果たしていくものと考えられる。

そこで本稿では、歴史学習におけるHP利用を考えていくための基礎作業として、愛知県内における公立の歴史系博物館・資料館のHPの現状について、子どもの調べ学習に対応できるかどうかという視点から検討をおこなうものである。

2. 調べ学習に適したHPの要素

博物館・資料館のHPの具体的な検討に入る前に、調べ学習に適したHPとはどのような要素が必要なのかを整理しておきたい。

a. 子どもたちにわかりやすいこと

親しみやすいようにイラストなど用いることも勿論必要だが、読めない漢字が多かったり、説明が硬い表現で理解できないようでは、子どもたちが利用することはできない。小学生向け・中学生向けというように、対象年齢によって使用する漢字・説明などを考慮したHPでなければならない。

また、トップページでHPの内容が一覧できたり、その施設の目玉や得意な分野がすぐにわかるようなレイアウトになっているというように、必要な情報が掲載されているかどうか判断できるよう配慮されていることも大切であろう。

b. 良質な情報であること

先に述べたが、学習で利用する情報は一定程度信頼性のあるものでなければならない。

それから、発信者の得意分野に関する情報についてはどこよりも詳細な内容であるとか、他の地域では見られないような地域に根ざした情報が発信されているといったように、そのHPでなければ見ることができないような個性的な内容を発信していることも重要である。

そしてHPの内容にもよるが、情報の更新・追加が常におこなわれていることも大切であろう。

c. 関連した情報へのリンクがあること

類似の情報を発信しているHPへのリンクがあれば、芋づる式に情報を探ることが可能となり、より深い学習や情報検索への手がかりとなる。

また前述の情報の更新とも関係するが、常にリンク先が存在するかを確認されていることも(表面的には分からないが)大切であろう。

d. 著作権について説明されていること

HPに掲載されている図や画像などの著作権について、学校内で利用するならばフリーとしてよいのか、問い合わせが必要なのか、どんな場合でも転載厳禁なのが、これらのことが明言されていれば、スムーズに授業で使うことができる。

e. メールなどで質問・問い合わせができること

メールアドレスを掲載したり、専用のフォームを用意してあるHPなら、子どもたちが疑問に思ったことを質問し、解決できる手がかりの一つとなる。

また、質問をまとめたFAQなどがHPに用意されていると便利である。

以上が調べ学習に適したHPの要素ではないかと考えている。そしてこの中でも特に「メールなどで質問・問い合わせが出来ること」が重要な要素と考える。というのも、インターネットは単なる情報収集の手段としてだけではなく、人と人とのコミュニケーションの手段としても非常に有効性を持っているからである。疑問に思った事を質問し、それに対してHPの発信者が回答するというコミュニケーションは、従来の情報源には見られなかった貴重な付加価値ではないだろうか。

また、実際に調べ学習をスムーズに進めるためには、教師が情報の所在をある程度把握し、子どもに対して適切なアドバイスをしていくことも必要であろう。確かに子どもたちが試行錯誤をして新しい情報を見つけしていくことも大切であるが、何もないところから必要

な情報を探していくのは相当の時間がかかり、無駄な時間を費やすことになる可能性が高い⁽²⁾。そう考えた場合、子どもの調べ学習を想定したリンク集⁽³⁾を作成しておくことも重要となってくるであろう。

3. 愛知県内公立歴史系博物館・資料館におけるHPの現状

それでは、愛知県内の公立歴史系博物館・資料館(73施設を対象)におけるHPの現状について見ていきたい⁽⁴⁾。

まず、HPで情報が発信されている博物館・資料館は36施設と約半数で、予想以上に少なかったというのが正直な感想である。またこのほとんどが、各自治体のHP内での情報発信という形をとっており、決して独自のHPでの情報発信ではない。独自のHPを持っている博物館・資料館は、愛知県清洲町貝殻山貝塚資料館、蒲郡市博物館、名古屋市博物館の3施設のみである。そのため、独自のメールアドレスを持っている館もこの3館のみである(新城市設楽原資料館HPでもメールアドレスは表記されているが、管理者の行政部総務局のものと考えられる)。

発信されている内容であるが、各自治体のHPから発信されている博物館・資料館については、そのほとんどが概要や利用案内といった施設紹介のみの情報にとどまっており、その博物館が所有する資料に関する情報や、地域の歴史の情報などは発信されていない。比較的多くのページを用いて情報が発信されているHPは次の3施設である。

愛知県陶磁資料館

施設の概要・利用案内といった広報的内容が中心だが、「収蔵品案内」で、一部の収蔵品に関する情報を発信。

新城市設楽原資料館

設楽原の戦いについての展示資料、そして設楽出身の岩瀬忠震の展示資料など13点に関する情報を発信。

師勝町歴史民俗資料館

現在行われている企画展および過去に行われた企画展・特別展の様子を発信。

これらのHPにおいては、地域的・個性的な内容を持つ良質の情報も発信されている。しかし、残念ながら小・中学校の子どもたちにとっては、決してわかりやすいページとはなっておらず、調べ学習には不十分な内容と言わざるをえない。(ただし教師の教材研究には利用価値が高いものと思われる。)

単独でHPを持っている3施設については、複数のページを用いて数々の情報が発信されている。

蒲郡市博物館は、博物館資料についての情報はほと

んど発信されていないものの、「がまごおり年表(一部工事中)」「市内の指定文化財」「市内の天然記念物」といった市域に関する情報が発信されている。

また「百人一首に挑戦!」といったクイズがあったり、全体的に画像を多く使うなどして親しみのあるイメージのHPになっている。

また名古屋市博物館は「平成11年度名古屋市博物館の展覧会案内」「家族映画会のご案内」といった広報的な要素の情報は多く発信されているが、博物館資料の情報はほとんど発信されていないHPとなっている。これら2施設のHPは、残念ながら子どもの利用に対してはほとんど配慮されておらず、調べ学習には不向きである。

愛知県清洲町貝殻山貝塚資料館のHPは「情報発信源である愛知県清洲町貝殻山貝塚資料館と、周辺の考古学情報を雑誌風に提供することを目的」としたもので、質・量ともに充実したものとなっている。特に朝日遺跡に関する情報は、発掘情報の成果をもとに多くの内容が発信されている。また、「世代や専門分野を問わず、楽しめるような内容になれば、と考えています」の言葉に見られるように、内容も色々工夫がされており、例えば「インターネット展示室」では小銅鐸の音をWaveファイルとしてダウンロードすることが可能である。

そしてなにより注目したいのは、子どもへの配慮として「こども考古学教室」が作られている点である。以下詳しく見ていきたい。

「こども考古学教室」のトップページは、「時間わり」と称して、

- 1 時間目 朝日いせきへ行こう!
- 2 時間目 やよい人の生活
- 3 時間目 やよい人グルメ
- 4 時間目 やよい都市・朝日いせき
- 自由研究 図書館・博物館たんけん隊

の5項目を掲げ、それぞれがどのような内容のページなのか判るようになっている。ここで発信されている内容は特に朝日遺跡を軸に考古学や弥生時代を学べるようになっており、地域的・個性的な内容となっている。

また記述に関しては、例えば発掘調査の写真を、

さあ、今日はみんなと来たのは、「朝日いせき」というところだ。たくさんの人が、なにかしているよ。あれは、「発掘調査(はっくつちょうさ)」といって、地面の下にうまってしまった、大昔の人々の生活の跡(あと)を、土をほってしらべているんだ。

と説明しているように、平仮名を多く用い、小学生も読むことができる表現となっている。

また文中には「貝がら山はかせ」のマークがあり(上の記述であれば「朝日いせき」と「発掘調査(はくつちょうさ)」の後にある)これを押すと難しい用語の説明のページが表示されるようになっている。ハイパーリンク利用の好例であろう。

関連情報のリンクに関しては、「自由研究 図書館・博物館たんけん隊」が該当する。このページ内では4冊の本の紹介、3件のリンクがある。本を紹介している点は、情報収集の幅を広げるといって非常に意味を持つのではないと思われる。

また「博物館散歩」という考古学関係のリンク集では、90件を超えるリンクが張っており、また短いながらもコメントがつけられている。これは「こども考古学教室」とは別のところにあり、特に子ども向けに作られてはいないが、関連する情報へのリンクとしては非常に便利なものである。

質問の受付に関しては、

質問(しつもん)があったら、かえりにポストに手紙をいれよう。(ポストのマークをおしてね)貝がら山はかせが「でんしメール」で答えてくれるよ。

とあり、マークを押すと、「しつもの手紙」というフォームが表示され、簡単にメールが送れるよう配慮されている。

著作権に関しては、別のページで「このホームページで使用している写真、図などは、愛知県清洲貝殻山貝塚資料館(財)愛知県埋蔵文化財センターに著作権があります。従って、無断転載、無断使用については厳禁です。」と明示されている。できれば学校での利用はフリーに許可されることが望ましいが、これなら著作権上の問い合わせが必要ということが明確である。

このように「子ども考古学教室」は調べ学習に適した要素を基本的に含む、非常によく考えて作られているHPといえるものである。

ところで、このHP最新更新日は98年3月12日で止まっている(それ以前は頻りに情報が更新されていた)。これは資料館が98年4月1日より施設改装のため長期休館となったことによるが、県の財政難のため残念ながら開館のメドはたっていないそうである。できることならばこのHPだけでも継続運営していただけたらと思う。⁽⁶⁾

5. おわりに

以上、愛知県内公立歴史系博物館・資料館のHPを

子どもの調べ学習への対応という視点から検討したわけだが、現状では愛知県清洲町貝殻山貝塚資料館以外には子どもの調べ学習に適したHPは開設されていないこと、またそれ以前の問題として、博物館・資料館独自のHPがほとんど開設されていないことが明らかになった。もちろん自治体内での施設の位置づけ・予算規模・職員数といった博物館・資料館側の個別の問題により、簡単にHPを開設することができない事情もあるものと思われる。しかし、博物館が所蔵する資料に関する情報を発信することは今後の博物館・資料館における重要な課題の一つであり、今後HPを開設する博物館・資料館は増えていくのは間違いないだろう(実際予算が計上されれば来年度にHPを開設するという資料館もある)。その際には、学校教育現場が新学習指導要領の実施に伴って2002年以降に迎える状況を配慮して、子どもの調べ学習に適したHPも同時に開設してもらえよう願いたい。

また今回は博物館・資料館を検討対象としたわけだが、「情報の教育化プロジェクト」報告では、大学に対しても教育用コンテンツ・HPの開発を求めている。これに対してどのように答えていくのか、我々の今後の大きな課題の一つといえるだろう。この点に関しては、別稿により報告したい。

註

- (1) 報告に関しては、<http://www.monbu.go.jp/news/00000356/index.htm> を参照されたい。ちなみにソフト面の具体的な取り組みとして、
 - すべての教員がコンピュータを活用して指導できる体制をつくる
 - 地域や民間企業の協力を得て、学校に多数の人材を活用し学校の情報化をサポートする
 - 産・官・学連携によるバーチャルな研究体制をつくる
 - 「教育情報ナショナルセンター」を整備する
 といった内容も盛り込まれている。しかし、その後発表された「ミレニアム・プロジェクト(新しい千年紀プロジェクト)基本的な枠組みと構築方針について」(1999年10月19日内閣総理大臣決定、全文については<http://www.kantei.go.jp/jp/mille/991020millpro.html> を参照)では、教育の情報化のプロジェクトの概要として
 - 全国の全ての学校におけるインターネット環境の整備
 - 公立小中高等学校を対象とした校内ネットワーク(LAN)機能の整備の支援等。
 - コンピュータ環境を十分活用し得る体制整備
 - 公立学校教員の研修。
 - 質の高い教育用コンテンツの総合的提供の推進。

を、プロジェクトの構築方針として

- 教育用コンテンツの開発・普及については、民間事業者の創意工夫を活用するものとする。
- 技術開発については、必要不可欠なものに限る。

を掲げている。ここでは「教育の情報化プロジェクト」報告の(2)で示された博物館・美術館・大学・研究機関等における教育用コンテンツの開発という点は明示されなかった。今後の動向に注目していきたい。

- (2) 仮に、徳川家康が開いた江戸幕府について詳しく調べたいと考え、サーチエンジンの「こねっとg00」を用い、「徳川家康 江戸幕府」という検索語で検索をかけたとする。この場合検索結果は2939件で(1999/11/13現在)、結果の一番初めのは、岩波書店HP内の『徳川家康』(文庫)を紹介するHPであった。

- (3) 子どもの調べ学習の手がかりとなりそうなリンク集としては、

○こねっと・ワールドの「こねっと図書館」

http://www.wnn.or.jp/wnn-s/tosyokan/index_f1.html (各教科ごとにHPを分類)

○文溪堂の「インターネット資料集」

<http://www.bunkei.co.jp/takara/siryou/siryou.html> (小学校の5・6年生の社会科の学習に利用できるHPなどを学習内容毎に分類し紹介)

○松下幸司さん(大阪大学大学院生)の「博物館の博物館」

<http://candy.hus.osaka-u.ac.jp/esthome/matusita/Museum/Museum.html> (「知りたいな」という知的好奇心を満足させてくれるHPを蒐集)

などがある。勿論これら以外にも数多くのHPがあるのはいうまでもない。例えば、日本教育工学会編『インターネットが教育を変える』(明治図書、1999)に収録されている「資料 インターネットの教育利用を考えるための参考資料」においても「教材・実践事例」としていくつか紹介されているので参照されたい。

- (4) 各博物館・資料館のURLについては、[資料：愛知県内公立歴史系博物館資料館におけるHPの開設状況]を参照されたい。

- (5) 愛知県清洲町貝殻山資料館HPは近日中にURL変更の予定があり、そこでは質問の受付はおこなわない予定であるとのことであった。

[付記] 本稿は土屋武志の指導のもと神田竜也が執筆したものである。また、作成にあたり宝飯郡音羽中学校の川本篤史氏にも実践上の視点からHP利用に関する意見など助言いただいた。記して感謝いたします。

[資料: 愛知県内公立歴史系博物館・資料館におけるHPの開設状況 1999/11/8現在]

名称	設置自治体	URL	内容	備考
1 愛知県清洲町貝殻山貝塚資料館	愛知県 (所在地は清洲町)	http://www.asahi-net.or.jp/~iy4t-ngc/jsiryoka.html [メールアドレス iy4t-ngc@asahi-net.or.jp]	[Welcome! 貝殻山貝塚資料館] / [インターネット展示室] / [朝日遺跡の姿] / [こども考古学教室] / [考古学情報] / [愛知の考古学] / [本の紹介] / [貝塚への手紙] / [その他情報]	現在休館中
2 愛知県陶磁資料館	愛知県 (所在地は瀬戸市)	(http://www.pref.aichi.jp/touji/)	[地図・施設配置図] / [ご利用案内] / [展示スケジュール] / [本館・南館・西館案内] / [収蔵品案内] / [陶芸館案内] / [茶室「陶翠庵」] / [ギャラリー・レストラン・ミュージアムショップ案内] / [愛知県ホームページ]	愛知県HP内
3 愛知県埋蔵文化財調査センター	愛知県 (所在地は弥富町)	(http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/hozon.html)	(概要)	愛知県教育委員会総務課HP内「文化財の保存と活用」に掲載
4 豊根村民俗館	豊根村	(HPなし)		
5 津具村立民俗資料館	津具村	(HPなし)		
6 設楽町立奥三河郷土館	設楽町	(http://www.town.shitara.aichi.jp/kankou/okumikawa.html)	(概要)	設楽町HP内
7 稲武町郷土資料館	稲武町	(HPなし)		
8 鳳来町立長篠城址史跡保存館	鳳来町	(HPなし)		
9 作手村歴史民俗資料館	作手村	(HPなし)		
10 新城市設楽原資料館	新城市	(http://www.tsc.co.jp/~sinsiro/sitara/) [メールアドレス (sin1@tcp-ip.or.jp)]	(概要) / [3連発の火縄銃] / [火縄銃一堺系古筒] / [後藤王] / [伝説の信玄砲] / [戦国時代のアジ地図] / [戦国の甲冑] / [唐人笠馬標] / [信玄塚] / [岩瀬中震の手紙-中根雪江宛て] / [岩瀬中震の手紙-橋本左内宛て] / [岩瀬中震の絵画] / [徳貞郷に宛てた武田勝頼高札] / [勝負を分けた信長の作戦-「馬榑櫓」の構築-]	新城市役所HP内、メールアドレスは行政部総務課のものか?
11 一宮町歴史民俗資料館	一宮町	(HPなし)		
12 豊川地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	豊川市	(http://www.city.toyokawa.aichi.jp/manyu/yuyu3.html)	(概要)	豊川市HP内「施設紹介」に掲載
13 小坂井町郷土資料館	小坂井町	(HPなし)		
14 御津町立歴史民俗資料館	御津町	(http://www.town.mitsu.hyogo.jp/institution/)	(利用案内)	御津町HP内、「施設案内」に掲載
15 蒲郡市博物館	蒲郡市	http://www.city.gamagori.aichi.jp/kyoiku/museum/ [メールアドレス museum@city.gamagori.aichi.jp]	[トップ] / [概要] / [常設展示] / [ギャラリー] / [企画展年間予定] / [古文書を読む会] / [刊行物通信販売] / [百人一首に挑戦!] / [がまごおり年表] / [市内の指定文化財] / [市内の天然記念物] / [募集] / [市史編さん事業] / [履歴書] / [URL検索] / [各施設の催し物ご案内] / [来館者芳名録(掲示板)] / [リンク集] / [市役所の目次] / [部課の目次へ]	
16 豊橋市二川宿本陣資料館	豊橋市	(HPなし)		
17 田原町博物館	田原町	(http://www.town.tahara.aichi.jp/page/museum/museum.htm)	(概要)	田原町HP内
18 田原町民俗資料館	田原町	(HPなし)		
19 赤羽根町歴史民俗資料館	赤羽根町	(HPなし)		
20 渥美町郷土資料館	渥美町	(http://www.himika.co.jp/%7Eatumi/event.html)	(利用案内) / (概要)	渥美町HP内、「イベント・施設」に掲載
21 足助資料館	足助町	(HPなし)		
22 小原郷土館	小原村	(HPなし)		
23 藤岡町民俗資料館	藤岡町	(HPなし)		ただし藤岡町HPに「民俗資料館企画展」あり、期間限定の情報か?
24 豊田市郷土資料館	豊田市	(http://www.city.toyota.aichi.jp/bunka/shisetu/kyoudo/kyouyou.htm)	(概要・利用案内)	豊田市HP内
25 松平郷館	豊田市	(HPなし)		

26	豊田市棒の手会館	豊田市	(HPなし)		
27	三好町立歴史民俗資料館	三好町	(http://www.town.miyoshi.aichi.jp/kokyo/kokyoshisetsu.html)	(概要)	三好町HP内「三好町公共施設」に掲載
28	岡崎市郷土館	岡崎市	(http://www.city.okazaki.aichi.jp/yakusho/ka2840/ka151.htm)	創立沿革の概要/建物自体が貴重な文化財です/郷土館の沿革/お知らせ/[施設概要へ]/(利用案内)	岡崎市HP内
29	六ツ美民俗資料館	岡崎市	(HPなし)		
30	藤川宿資料館	岡崎市	(HPなし)		
31	三河武士のやかた家康館	岡崎市	(http://www.city.okazaki.aichi.jp/yakusho/ka2840/ka161.htm)	館内のご案内/入園料/駐車場の案内/(利用案内)	岡崎市HP内
32	幸田町郷土資料館	幸田町	(http://www.sun-inet.or.jp/~kota/sisetu_syoukai.html)	(概要)	幸田町HP内「人いきいきKOTA施設紹介」に掲載
33	知立市歴史民俗資料館	知立市	(http://www.city.chiryu.aichi.jp/sugi.y2.html#図書館)	(概要)	知立市HP内
34	刈谷市郷土資料館	刈谷市	(http://www.city.kariya.aichi.jp/present/sisetu/sisetu14.html)	(概要)/(利用案内)	刈谷市HP内
35	安城市歴史博物館	安城市	(http://www.city.anjo.aichi.jp/anjo_clip/kanko/rekishi/)	(概要・利用案内)	安城市役所のHP内
36	高浜市郷土資料館	高浜市	(http://www.city.takahama.aichi.jp/services/ser.est/est018.htm)	郷土資料館(図書館の2階)の利用について	高浜市HP内「施設ガイド図書館」で掲載(高浜市郷土資料館は図書館2階に設置)
37	西尾市資料館	西尾市	(http://www.iijnet.or.jp/nishio/palepurple/history_park/index.html)	(概要)/(刊行物情報)/施設データ	西尾市HP内「西尾市歴史公園」に掲載
38	吉良町歴史民俗資料館	吉良町	(HPなし)		
39	一色学びの館	一色町	(http://www.town.issiki.aichi.jp/MORE/MANABI/manabi.html)	(概要)/(実物大の大提灯)	一色町HP内
40	名古屋博物館	名古屋市	http://www.nms-net.com/ncm/ncmjp.html [メールアドレス ncm@nms-net.com]	[平成11年度名古屋博物館の展覧会案内]/[資料の収集と保存]/[調査研究]/[常設展 尾張の歴史]/[ビデオミュージアム]/[家族映画会のご案内]/[名古屋博物館友の会のご案内]/[特別展 学びの系譜]/[中林竹溪 水と風の画家]/博物館利用案内	
41	名古屋見晴台考古資料館	名古屋市	(HPなし)		
42	瀬戸市歴史民俗資料館	瀬戸市	(http://www.la.mesh.ne.jp/setsu/)	(概要・利用案内)/(一部収蔵品紹介)	瀬戸市HP内
43	スカイワードあさひ3F歴史民俗フロア	尾張旭市	(http://www.city.owariasahi.aichi.jp/3sisetu/index.html)	施設のあらまし	尾張旭市HP内、ただしスカイワードあさひに関してのもの、該当施設については「3階歴史民俗フロア(常設)歴史民俗資料展示」とあるのみ
44	春日井市立郷土館	春日井市	(HPなし)		
45	小牧市歴史館	小牧市	(http://www.city.komaki.aichi.jp/shisei/022.html)	(利用案内)	小牧市HP内
46	師勝町歴史民俗資料館	師勝町	(http://www.nhk-chubu-brains.co.jp/aichi/shikatsu/minzoku.html)	[昭和日常博物館の試み]/[前回の特別展 暮らしの風景博物館「昭和子育て奮戦記」]/[前回の特別展 展示ガイド ビジュアル版]/[前回の企画展 みんなで作る企画展「超・自分史ガイド実践編」]/[最新の企画展 ナツカシイネ楽しかった旅のキオクヨミガエリシおみやげ]/[アクセスマップ]	師勝市HP内
47	春日町中央公民館郷土資料室	春日町	(HPなし)		
48	清洲文化広場(清洲城)	清洲町	(HPなし)		
49	長久手町郷土資料室	長久手町	(http://www.now.or.jp/nagakute/kyoudo.html)	(概要・利用案内)	長久手町HP内
50	岩崎城歴史記念館	日進市	(HPなし)		
51	東郷町郷土資料館	東郷町	(HPなし)		
52	大府市歴史民俗資料館	大府市	(http://www.japan-net.ne.jp/~chita/obu-rekisi.html)	(概要)	大府市HP内
53	東海市立平州記念館・郷土資料館	東海市	(http://www.atnet.ne.jp/~nagaura/kinenkan.html)	(概要)/(利用案内)/問い合わせ先	東海市HP内
54	知多市歴史民俗博物館(ふゅうとりい・ちた)	知多市	(http://www.city.chita.aichi.jp/syougai/hyu-tory/hyutory1.htm)	利用案内/施設概要/愛称	知多市HP内

55	半田市立博物館	半田市	(HPなし)		
56	常滑市民俗資料館	常滑市	(http://www.city.tokoname.aichi.jp/05_yakusyo/institution/ins09.htm)	(利用案内)	常滑市HP内
57	武豊町歴史民俗資料館	武豊町	(http://lec-nt.lec.handy.n-fukushi.ac.jp/taketoyo/kurasi/sisetu/rekimin.htm)	(概要) / 開館時間等 / 展示室等	武豊町HP内
58	南知多町郷土資料館	南知多町	(HPなし)		
59	大山市文化史料館	大山市	(http://www.city.inuyama.aichi.jp/inuyama/kankou/bunka/bunka.html)	(概要・利用案内)	大山市HP内
60	江南市歴史民俗資料館	江南市	(http://www.city.konan.aichi.jp/rekisi/rekimin.html)	(概要・利用案内)	江南市HP内
61	岩倉市郷土資料室	岩倉市	(HPなし)		
62	一宮市博物館	一宮市	(http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/Hakubutukan/annai.html)	(概要・利用案内)	一宮市HP内
63	尾西市歴史民俗資料館	尾西市	(http://www.city.bisai.aichi.jp/p08.html)	(概要) / [柳川藩と起宿] / [尾西の出土品Ⅱ] / [尾西の土人形] / ご案内	尾西市HP内、 [柳川藩と起宿] / [尾西の出土品Ⅱ] / [尾西の土人形] は過去の企画展紹介
64	祖父江町郷土資料館	祖父江町	(HPなし)		
65	平和町農村環境改善センター民俗資料展示室	平和町	(HPなし)		
66	甚目寺町歴史民俗資料館	甚目寺町	(HPなし)		
67	美和町歴史民俗資料館	美和町	(HPなし)		
68	七宝町郷土資料館	七宝町	(http://www.ccchubu.co.jp/shippo/shippo3.html)	概要 / ご利用案内 / 案内図	七宝町役場建設部建設課作成「七宝」HP内
69	佐織町中央公民館歴史民俗資料	佐織町	(HPなし)		
70	佐屋町中央公民館郷土資料室	佐屋町	(HPなし)		
71	蟹江町歴史民俗資料館	蟹江町	(HPなし)		
72	飛島村中央公民館郷土資料室	飛島村	(HPなし)		
73	弥富町歴史民俗資料館	弥富町	(HPなし)		

- ・本表作成にあたり博物館・資料館への問い合わせは行っていない。リンク集やサーチエンジンを利用したの情報収集である。
- ・自治体と直接関係していないHPにおける博物館・資料館紹介は本表ではとりあげていない
- ・URLのうち()を付したものは博物館・資料館が直接運営していないHPであることを示す
- ・内容のうち「」を付したものはリンクが張られているものを示す、また()を付したものはこちらで内容を付与したことを示す

「追加」

	幡豆町歴史民俗資料館	幡豆町	(http://www.sun-inet.or.jp/~hazucho/page/museum.htm)	利用案内	幡豆町HP内
--	------------	-----	---	------	--------